

元気のいい魅力あるまちづくりを!

第1回地域元気セミナー

5月20日、壽丸屋敷で白石商工会議所商業部会主催の「第1回地域元気セミナー」が開催されました。講師には、青森市のコンパクトシティ構想を推進し成功させた、青森市まちづくりあきんど隊の加藤博隊長を迎え、「元気のいい魅力ある街づくりとは」と題した講演が行われました。

セミナーには、事業者や市議会議員の皆さんなど約30人が参加。加藤先生は、まちづくりは行政や企業、事業者などが連携して、一人でも多くの「まちを考える人」を集めることが大切であると語り、先生の活動を基にした話に参加者たちは熱心にメモをとっていました。



▲まちづくりは人づくりと力説する加藤先生

和紙のあかりで町中を埋め尽くそう!

白石和紙あかり制作ワークショップ



▲はりこや骨組みなど、思い思いのタイプのあかりが完成

5月24日、25日の両日、壽丸屋敷で白石和紙を使ったあかり作り、「白石和紙あかり制作ワークショップ」が開催されました。この催しは、まちづくり団体「蔵富人」が主催して平成15年から行っています。今回の教室には14名が参加。和紙がもたらす幻想的な光を求めて、思い思いのあかり作りを楽しんでいました。

ワークショップで制作した作品は、8月の夏まつり開催時に壽丸屋敷で展示し、市民の皆さんに和紙のあかりをご覧いただけます。また、7月12日、13日の2日間、3回目となるワークショップが開催されますので、皆さんも和紙のあかりづくりを体験してみませんか?

元気に100歳を迎えました

まつの松野フヂヨさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲刺し身が大好きで、縫い物も得意というフヂヨさん

5月17日に満100歳の誕生日を迎えた松野フヂヨさん(字称宜内)のもとを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、ご長寿を祝福しました。

フヂヨさんは大鷹沢三沢地区のご出身。ご主人のお仕事の都合で、台湾で生活していた経験もある元気なおばあちゃんです。普段はテレビを見るなどして過ごしており、ときどきはデイサービスで福岡蔵本の茶園を利用しているというフヂヨさん。ご長寿の秘けつをお伺いすると、「やはり友達と会話するのが一番です」と答えてくださいました。

EM菌のパワーでプール清掃も楽チン!

深谷小でEM菌投入プールの清掃を実施

環境に優しく、水質浄化や生ごみの肥料化にも役立つとされる有用微生物群、EM菌。4月末にプールへのEM菌発酵液投入を行った深谷小学校で6月2日、その清掃が行われました。清掃には、これまでEM菌の発酵方法などを指導してきた市地域婦人団体連絡協議会(真壁治子会長)の皆さんも参加。EM菌の働きで藻などが分解されたプールは、昨年まであった壁面のぬめりが見事になくなり、プール内で清掃に当たった子どもたちから歓声が上がっていました。市内では深谷小以外にも、大鷹沢小や福岡小で同様の清掃が行われています。



▲ぬめりのないプール壁面の清掃はとっても楽!

サクソとピアノの絶妙なデュオ、児童もウツリ

けんみんアウトリーチコンサート

6月9日、深谷小学校と斎川小学校の2校で「けんみんアウトリーチコンサート」が開催されました。この催しは、子どもたちが芸術文化を愛で、そして愛でることができる環境をつくろうと(財)白石市文化体育振興財団と(財)宮城県文化振興財団が共催したものです。斎川小学校では全児童47名が参加。サクソ奏者の松原孝政さんとピアノ奏者の中岡太志さんが、バッハの「アリオソ」や子どもたちもご存じの「ルパン三世」、コブクロの「蕾」といった名曲を次々と披露し、その美しい旋律に、皆さんウツリと耳を傾けていました。



▲ピアノとサクソの美しい音色に聴き入る子どもたち

目指すは両国国技館、そしてその先に見える大横綱

わんぱく相撲仙南場所



▲3年生の部決勝、力強い取り組みを見せる今野くん(写真右)

6月7日、蔵王町立宮小学校屋外土俵で第12回わんぱく相撲仙南場所が開催され、仙南地区を中心に参加した60名ほどのわんぱく力士たちが、今年も熱戦を繰り広げました。(社)白石青年会議所が主催するこの催しには、市内の小学校からも多くの子どもたちが出場。特に、かつて横綱大砲萬右衛門を排した大鷹沢小学校の躍進はめざましく、3年生の部で今野日雅くんが準優勝、2年生の部で菊地修斗くんが準優勝、ほかの部でも3位・4位に数多くの子どもたちが入賞するなどの活躍を見せました。子どもたちの今後の成長が期待されます。

晴れ舞台は、私たちの“ホーム”白石城で!

白石よさこいまつり



▲10周年に向けて今年も頑張ります!

市内のよさこい踊りグループ、「よさこい走乱白石城」。各地のお祭りなどでその雄姿を披露し、本市の「やる気隊」にも登録している同グループでは、結成5周年を記念して5月18日、白石城で「白石よさこいまつり」を開催しました。まつりには仙南地域などを中心に14団体が友情参加。白石城をバックに華麗な踊り披露し、訪れたたくさんの来場者をわかせました。昨年までほとんど曲を変えず、踊りを大事にしてきたという同グループ。代表の成澤明子さんは「今年は仙台・宮城DCの年。市全体が盛り上がるようにしていきたい」と話していました。

その味わい深さを求めて、多くのファンが来場

第4回手づくりの市

5月31日・6月1日の2日間、壽丸屋敷で4回目となる「手づくりの市」が開催されました。この催しは、市内の公民館などで活動するサークル会員や講座生が製作した作品を展示販売する、貴重な発表の舞台として年1回、同実行委員会の主催で行われているものです。

今回の「手づくりの市」には7団体1個人が参加。屋敷内には小物入れやちぎり絵、ポーチ、布草履、トルペイントといった温かみのある作品が所狭しと並べられ、期間中、お目当ての品を求めて訪れた、たくさんの人でにぎわいました。



▲手作りの作品に見入る来場者